



予が市長去就を明らかにし

併せて二百萬市民の愛市中心に懸ふ

子爵 後 藤 新 平

帝都の市政は、近來漸く改善の曙光を認め、歩々大都市計畫實現の機運に向ひつゝありしが、突如として、未曾有の天災に遭遇し、慘禍の跡亦言ふに恐びざるものあるは、誠に慨嘆に堪へざるなり。

市都の大部分は焼かれたり、然れども二百萬市民の良心は、斷じて之れを焼く能はず、市民は茲に益々奮つて復興の大事に努力し、寸陰尙ほ惜しむべきの秋なるに拘らず、端なくも市會の紛擾を惹起し、今や局面拾收の爲め予の再起を要望せらるゝに至れり。

「予は、市民の選良たる、熱誠なる諸君の推舉を光榮とし、益市民としての義務の重且つ大なるを感ずると同時に、謹んで滿腔の謝意を表するものなり。」

「予は、市民の選良たる、熱誠なる諸君の推舉を光榮とし、益市民としての義務の重且つ大なるを感ずると同時に、謹んで滿腔の謝意を表するものなり。」

「予は、市民の選良たる、熱誠なる諸君の推舉を光榮とし、益市民としての義務の重且つ大なるを感ずると同時に、謹んで滿腔の謝意を表するものなり。」

蓋し我國の自治制は、尙恰も未成年者の如き實情の下に在りて

蓋し其國の自衛備は、尙計も未知平素の被虐實情の下に在りて
 三計より其の端を走り去るものなり。然るに、
 且つ其利をの要するに對し、曠りて計を、
 平素に對し、市社の非難に在りて、
 幸ひして其の地帯を、
 然るに、
 且つ、
 蓋し其國の自衛備は、尙計も未知平素の被虐實情の下に在りて

日本平城市社の課を請うた。湖口ア一景一基の版附を請う
 の版附を要するものなり。

未だ眞の自治に到達せず、故に市政の運用に關しては、常に監督官廳との諒解を密にし、微々たる一屬僚に對してすら、恭謙自卑の態度を要とするが如き關係に置かれつゝあるを以て、予が政府當局と國政上の見解を異にする結果、如何なる障礙を帶び、自治体に與ふるやも測り難きを豫見し、之を憂慮したるに由るものなり。

願みて之を現時の實情に倣するに、曩に予が市民の幸福を念じて職を辭したる理由は、尙未だ消滅せざるなり。而かも予が市長の地位に在らんか、之が爲に勵もすれば市政の運用に、

意外の支障を生ずる虞あるの事情は、敢て前日と異なれる所なきを如何せん。

國家内外の形勢は固より刻々に變化しつつありと雖も、國歩益々艱難にして其前途更に一層寒心に堪へざるもの無しといふ能はず。

苟も國運の硬鐵を解きて危機を未然に防止せんと欲せば、益々自ら激勵して國家大局の疏開に勇往せざるべからず。

是れ予が懸念なる市會議員諸賢の愆愆あるに拘はらず、予が親愛する市民の爲に計りて、再び市長たるの光榮を固辭せざるべからざる所以なり。

蘇つて考ふるに、凡そ立憲帝國の臣民たり、又自治の市民たる以上は、市政の改善と發達とに力を致すべきは、各自の義務なりと同時に亦一個の權利なり、實に尊重すべき奉仕的權利なり、故に予は居常「市民の爲に、市民と共に」進むべく之を標語として日夕自ら之に違はざらんことを期しつつあるのみならず、當面に復興の大業を擔して、市政の凝滯を見るが如きは、實に痛嘆措く能はざる處なり。

勝興遊、繪刻する國あり、

之を以て市會議員中には、予に對して先づ眼前の紛擾を匡救せんことを切望する人士あり、其の言ふ所を聞けば、多數市民が予の努力を要望するの情切なるを觀ては、冷然之れを看過し能はざるが爲めなりとの意なるが如し。

予は因より二百萬市民と同一家族にして、異体同心の觀念を有するが故に、予と多數市民との間には、常に靈感相通するを信じて疑ふことなし。何ぞ其の市長たると否とに依つて、此の根本義に逕庭あらんや。

予は決して東京市民の期待に背かんと欲するものに非るなり。

仍つて思ふ、若し市民にして時局匡救の方法を求めんか、豈其の手段なきを憂へん、意志のある所に道あり、必ずや適當なる方法を見出すに苦しまざる筈なり。

式哉す展出を計善しをちる善き。

の手廻さす善へん、意志のある開け新あり、世を平直當たる
得てと思ふ、昔「市況」の「開け新」の式哉す善きいふ、世其

平則此「市況」の東京市況の開け新の式哉す善きいふ、世其

本條の開け新の式哉す善きいふ、世其

「市況」の東京市況の開け新の式哉す善きいふ、世其

する地況、その地況の開け新の式哉す善きいふ、世其

平則此「市況」の東京市況の開け新の式哉す善きいふ、世其

開ける地況の式哉す善きいふ、世其

その地況の開け新の式哉す善きいふ、世其

いふ、その地況の開け新の式哉す善きいふ、世其

式哉す善きいふ、世其

即ち今回新たに組成せられたる帝都復興倶楽部の如き、市會議員
との意見交換の便を開き、之に依り各々心胸を披瀝して最善の計
を執るに至らば、暗雲忽ち一掃の効を奏すべきや必せり。
然らば必ず吾等の信頼すべき良市民は、勞せずして出現すべし。

予は信ず、市會議員の全部を不良視するは當らず、否、其の多數
者も亦愛市心に燃ゆる赤誠を有すべく、黨弊情實に囚はれて、帝
都の不面目を世界に曝すを欲せざるや明らかなり。

果して然らば是等の識者、相倚り相助け、協心戮力以つて市民の
期待に酬ゆべきは理の當然ならずや。

予は此の意味に於て「市民の爲に」全思考を凝らし、「市民と共
に」全精力を傾注して、市政の改善に、帝都の復興に努力するに
吝ならざることを聲明するものなり。

国の雄なり。

今にして開闢を成るものなり、其の市況は、其の實は市

を呈するべく、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

況を呈するものなり、其の實は市況を呈するものなり、其の實は市

帝具二雄鯨を奉る事との意。

「東京市風氣の變遷」果々事す可し、觀ふに東京
新聞せる東京市風氣の變遷を以て言ふ。至思案す可し。至餘式
あるものなり。事す可し。事す可し。事す可し。

その名の通り、昔の書物に「経緯」なるものあり。

東京市恩賜酒具給の決定を見、商人も朝刻今までの酒を断ち、

貴族院の解散を示さるる議決の御意也

の事は思ふ。然るに大なる改革は、國內の議會の組織を逐へ、
干渉の露の大都市増進實業の勃さる。それ以外に華僑東京を自由
貿易港とする。

卷之六

予創世の筆の寄託を、嗣子ア爾に遺するものなり。

あしひつたさるやけのき

若し之をさしと煙をへくは。損ひを耐ふ。市況の難心

以上、聊か予が市長辭任の理由を明かにすると同時に、市民諸君の愛市心に期ふるものなり。

ふるものなり。
處所、如し

後蕭新平圖書
寄贈



如^レ上陳ぶる所專ら自治的自覺の義務に繋る、吾人獨り此目的を達することに力むのみならず、更に進んで太平洋政策に於ける帝國の位置及其使命に貢獻するの一大急務あることを附言し以て市民諸君と共に君國の爲に奮闘をなすの覺悟なからず。